

平成19年3月期

# 決算説明資料

---

株式会社 ソフトフロント  
証券コード：2321  
(大証ヘラクレス)  
2007年5月15日

## 平成19年3月期：業績の概要

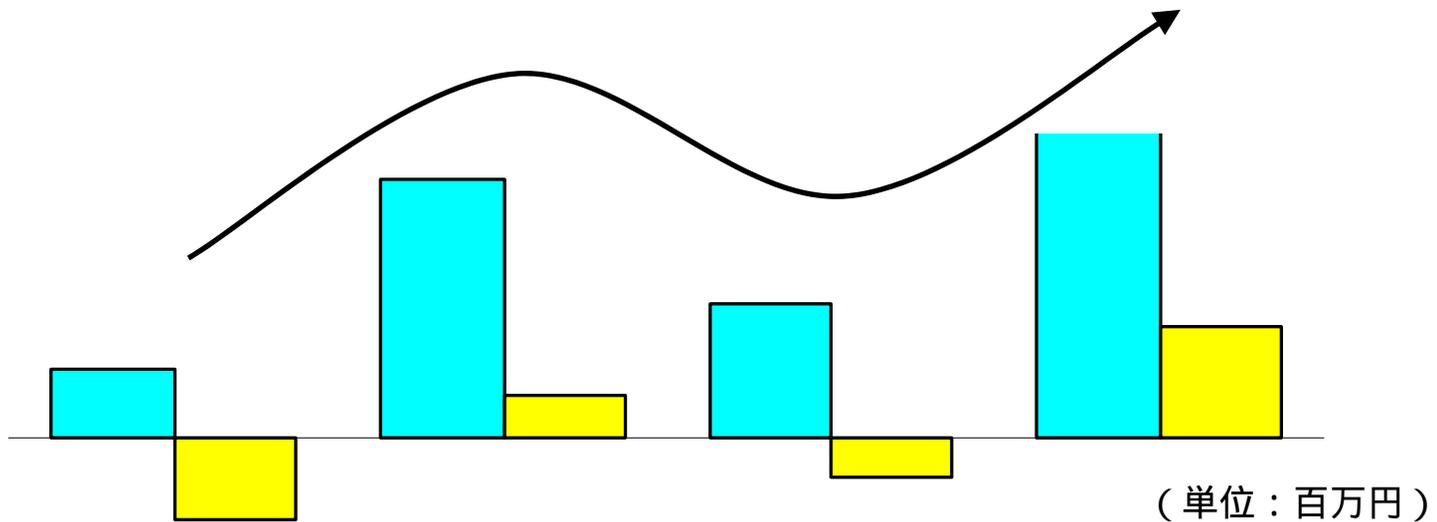
(単位：百万円)

	平成18年3月期	平成19年3月期	増減
売上高	537	961	424
営業損益	238	46	284
経常損益	246	44	291
当期純損益	249	42	291

増収要因：次世代基幹ネットワーク（NGN）構想が具体化してきていることに伴い、SIP搭載端末の実用化に向けた開発を支援する受託案件が増加いたしました。これにより昨年度同期より79%の売上増となりました。

増益要因：売上の増加424百万円に対し、費用の増加が132百万円に留まったことにより黒字転換を達成いたしました。

## 【参考】平成19年3月期 四半期推移



	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q
売上	87	320	167	386
損益	101	55	48	136

## 「売上高」の状況

(単位：百万円)

	平成18年3月期	平成19年3月期	増減
売上高	537	961	424
SW販売	226	300	74
受託開発	310	654	344
その他	1	6	5

- SW販売も順調に増加しておりますが、それ以上に受託開発の増加が顕著であり、前期に比べ倍以上の売上高となりました。特にSIP搭載端末の実用化に向けた開発を支援する受託案件の増加が著しく、商用ライセンスの拡大に向けて、着実に進捗しております。

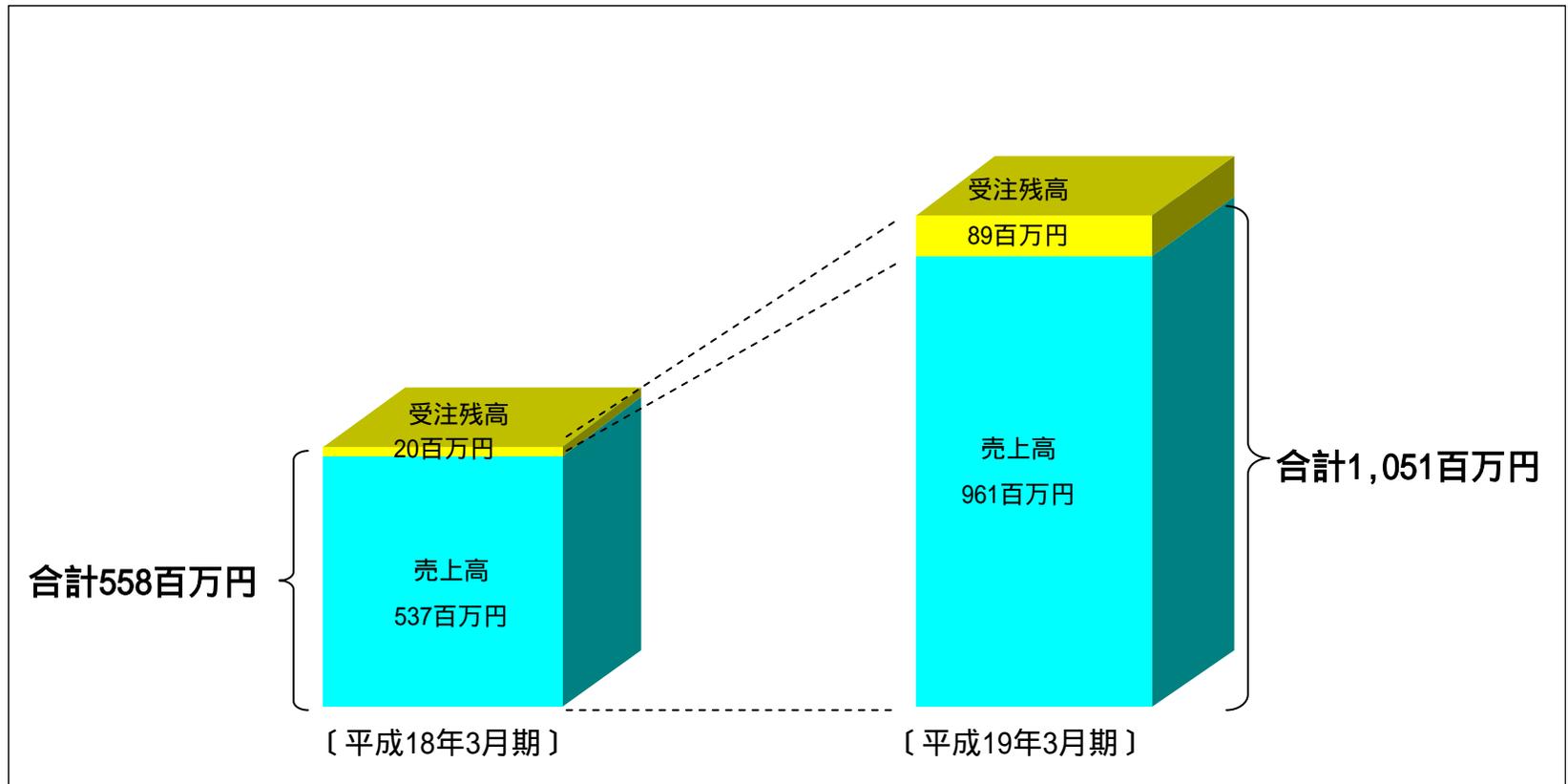
## 「受注高」の状況

(単位：百万円)

	平成18年3月期	平成19年3月期	増減
受注高	540	1,030	490
受注残高	20	89	68

- 売上に先行する受注高の増加が、売上の増加を上回っており、当社事業が順調に拡大しております。

## 【参考】売上高と受注残高合計の前年比較



- 売上高と受注残高の合計は前期に比べ88%の増加となりました。

## 「研究開発費・減価償却費」の状況

(単位：百万円)

	平成18年3月期	平成19年3月期	増減
研究開発費	146	96	49
開発に伴う 減価償却費	84	70	13

- 前期におきましては新製品開発のため研究開発費が多く発生しておりましたが、SW製品開発費用は安定してきており、前期比49百万円の減少となりました。
- ソフトウェアを中心とした減価償却も順調に進んでおり、前期と比べ償却額が縮小いたしました。

## 平成19年3月期：キャッシュ・フローの概要

(単位：百万円)

営業活動によるキャッシュ・フロー	8
税引前当期純利益	44
減価償却費	73
売上債権の増減額（増加）	187
仕入債務の増減額（減少）	46
その他	31
投資活動によるキャッシュ・フロー	228
投資有価証券の取得による支出	154
その他	73
財務活動によるキャッシュ・フロー	26
現金及び現金同等物の増減額	246
現金及び現金同等物期末残高	855
フリー・キャッシュ・フロー	219